原発事故発災から10年、内部被曝を考える ～子どもたちの異変～

原発賠償訴訟　京都原告団　共同代表
大飯原発差止訴訟　京都脱原発原告団
伊方原発差止　広島裁判原告団
福　島　敦　子

事故前の福島県での花見

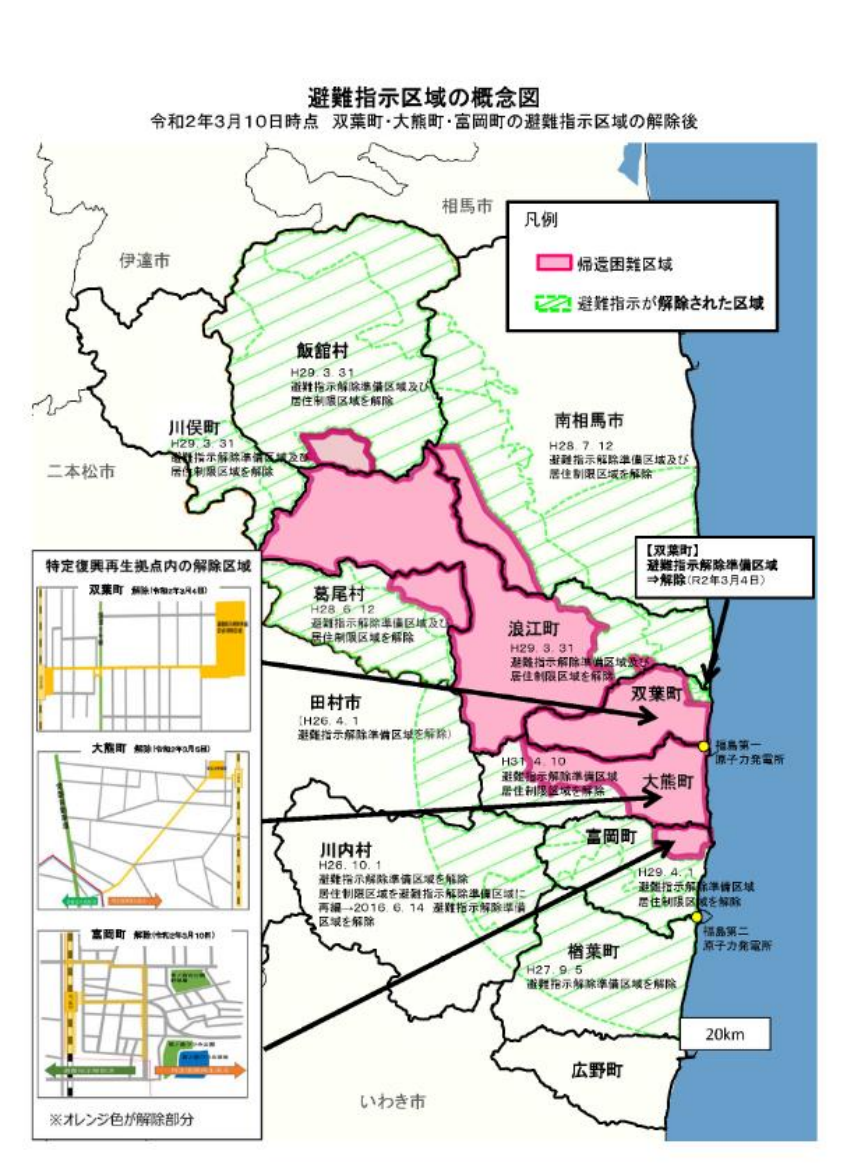
福島県-1

- 福島第1原発からの位置関係

http://tarofumizono.blogspot.jp/2011/03/blog-post_13.html

福島県-2

- 避難指示区域の概念図（令和2年3月10日時点）



福島復興ステーションより
https://www.pref.fukushima.lg.jp/img/portal/template02/hinanshijikuiki20200310.

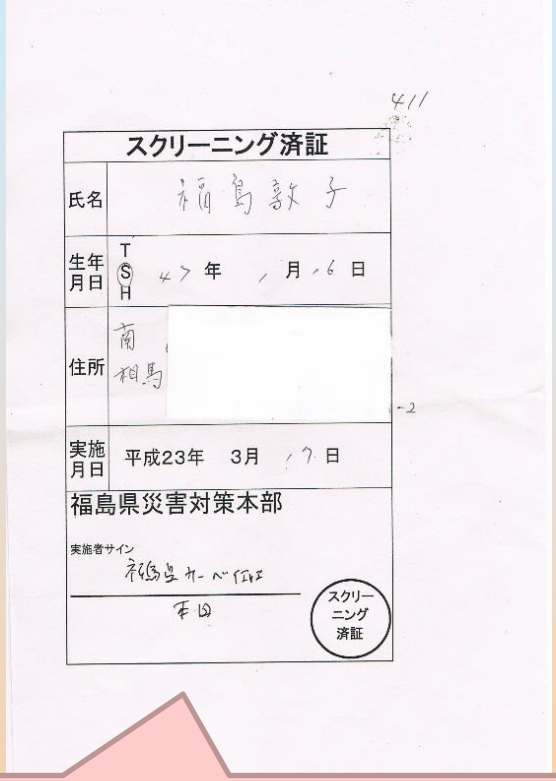
震災時の混乱

- 渋滞の様子

　2011年3月11日114号国道浪江町津島付近(左:民報新聞記事)

食料品などを購入するためにコンビニに並ぶ仙台市民(wikipediaより)

避難所での出来事



スクリーニング済証

氏名	福島敦子
生年月日	T S H 47 年 1 月 6 日
住所	南相馬
実施月日	平成23年 3月 17 日

福島県災害対策本部

実施者サイン

スクリーニング済証

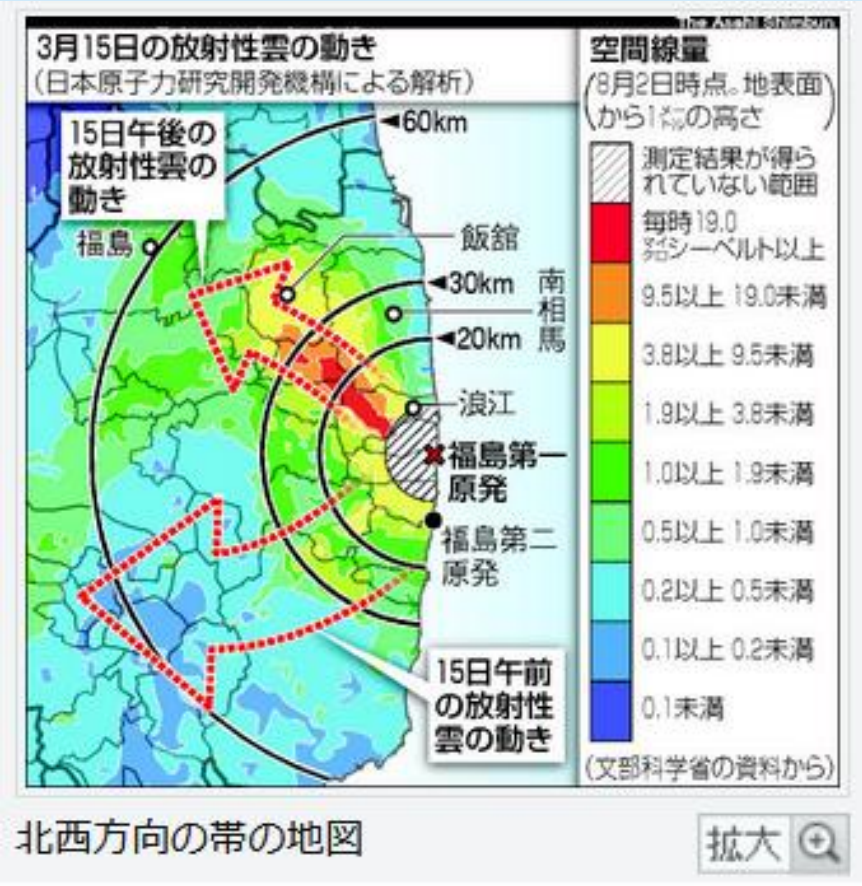
被ばくスクリーニング検査済証

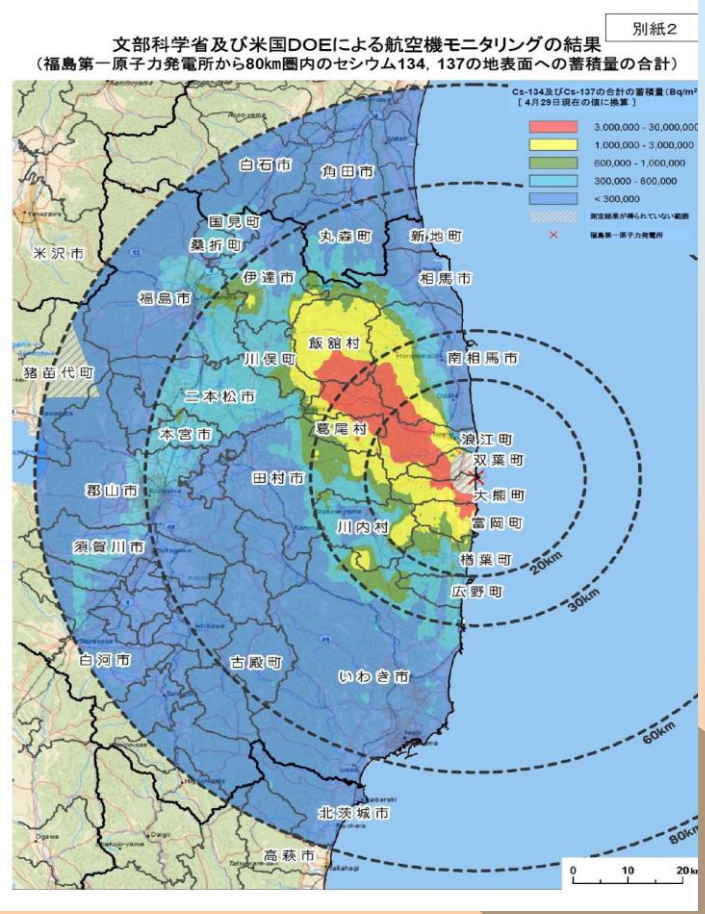
会津保健福祉事務所の情報

- 3月12日より相双地域からの避難者の増加
- 会津若松市では、被ばくスクリーニング検査の済んだ者のみ避難所へ受け入れる
- 13日　会津中央病院で検査実施するも避難者が殺到　検査中止
- スクリーニングレベル100000cpm設定
  これを超えると全身除染行うレベル

- 会津地域に設置された避難所への入所、医療機関の受信、アパートへの入居等の際に被ばくスクリーニング検査受検の有無を問われた
- 「被ばく検査済証」の発行は、福島県緊急被ばく医療活動マニュアルに記載なし
  社会の要請を考慮し迅速に対応した。

放射能汚染の広がり



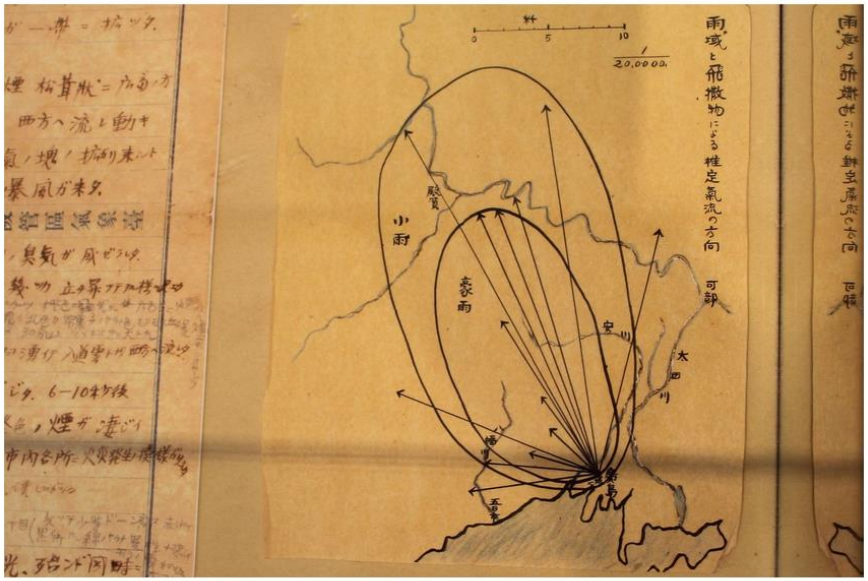


朝日新聞DISITALより
2011年9月8日

放射能汚染の広がり-2

- 黒い雨裁判　2015年提訴、20年全面勝訴した

広島平和記念資料館の「黒い雨地域」についての説明



広島管区気象台調査による降雨図＝広島市江波山気象館所蔵

nippon.comより
https://www.nippon.com/ja/japan-topics/c08202/

学校

- 2011年4月22日
　鹿島区で市内小中学校の始業式

2011年　小川尚一議員撮影

子どもの異変

- 子どもの不登校
- 子どもの食生活
- 子どもの交友関係

↓

生活環境の変化で心が変わる
ケアが手薄
子どもたちが孤立している

2014年6月29日　民友記事

原発災害「復興」の影

今を問う

【 1 】

不登校…潜むSOS　避難で転校繰り返す、心のケア手薄

「避難する前の学校だったら、通えていたかもしれないなあ」。いわき市小名浜の学習塾「キッズハウス」。塾に通う不登校の中学生数人が、塾長の玉根洋子(56)にそう漏らした。

東京電力福島第1原発事故の前、玉根は富岡町や楢葉町でも指導に当たっており、塾には今、双葉郡から避難した子どもが多く通う。平日昼間から塾に来る不登校の塾生は、事故前は5、6人だったが、今は15人。大半は避難者だ。玉根は「もともと学校が苦手で、それでも踏ん張って通学していた子が、避難で転校を繰り返すうちに全く通えなくなってしまった」と言う。

「キッズハウス」で子どもを指導する玉根塾長(右)。原発事故を機に不登校の塾生が3倍に増えた＝いわき市小名浜

子どもの異変-2

- 「エコー検査」の様子
  大阪　高槻市の医院にて

子どもの異変-3

- 放射性物質の健康被害は、甲状腺がんという特異的なものばかりではない。

2014年5月10日

←鼻血が止まらなかったころ

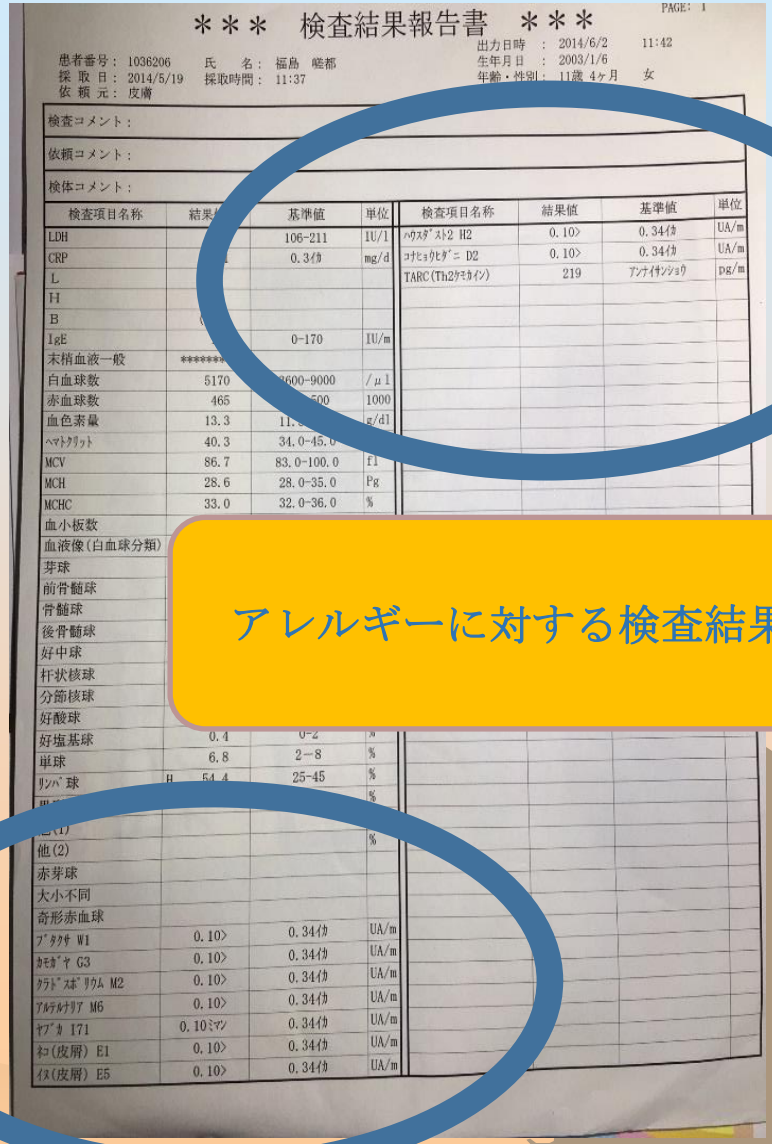
2014年5月19日 →

顔が腫れる

子どもの異変-4

- この時の診断結果

　花粉、ハウスダスト、昆虫、動物、アレルギー無！



＊＊＊　検査結果報告書　＊＊＊

PAGE: 1

出力日時　：　2014/6/2　11:42
生年月日　：　2003/1/6
年齢・性別：　11歳 4ヶ月　女

患者番号：　1036206　氏　名：　福島　嵯都
採 取 日：　2014/5/19　採取時間：　11:37
依 頼 元：　皮膚

検査コメント：
依頼コメント：
検体コメント：

検査項目名称	結果値	基準値	単位
LDH		106-211	IU/l
CRP		0.3ｲｶ	mg/d
L			
H			
B			
IgE		0-170	IU/m
末梢血液一般	*******		
白血球数	5170	3600-9000	/μl
赤血球数	465	500	1000
血色素量	13.3	11.[illegible]	g/dl
ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ	40.3	34.0-45.0	
MCV	86.7	83.0-100.0	fl
MCH	28.6	28.0-35.0	Pg
MCHC	33.0	32.0-36.0	%
血小板数			
血液像(白血球分類)			
芽球			
前骨髄球			
骨髄球			
後骨髄球			
好中球			
杆状核球			
分節核球			
好酸球			
好塩基球	0.4	0-2	%
単球	6.8	2-8	%
ﾘﾝﾊﾟ球	H 54.4	25-45	%
[illegible]			%
他(1)			%
他(2)			
赤芽球			
大小不同			
奇形赤血球			
ﾌﾞﾀｸｻ W1	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ｶﾓｶﾞﾔ G3	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ｸﾗﾄﾞｽﾎﾟﾘｳﾑ M2	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ｱﾙﾃﾙﾅﾘｱ M6	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ﾔﾌﾞｶ 171	0.10ﾐﾏﾝ	0.34ｲｶ	UA/m
ﾈｺ(皮屑) E1	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ｲﾇ(皮屑) E5	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m

検査項目名称	結果値	基準値	単位
ﾊｳｽﾀﾞｽﾄ2 H2	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
ｺﾅﾋｮｳﾋﾀﾞﾆ D2	0.10>	0.34ｲｶ	UA/m
TARC(Th2ｹﾞﾐｶｲﾝ)	219	ﾌﾞﾝﾅｲｻﾝｼｮｳ	pg/m

アレルギーに対する検査結果

子どもの異変-5

原発事故後の周産期死亡率

- 周産期死亡が福島とその近隣5県、岩手・宮城・福島・茨城・栃木・群馬での、2011年3月事故から10か月後急に15.6%（約3年間で165人）も増加。
- 全国では見られない。

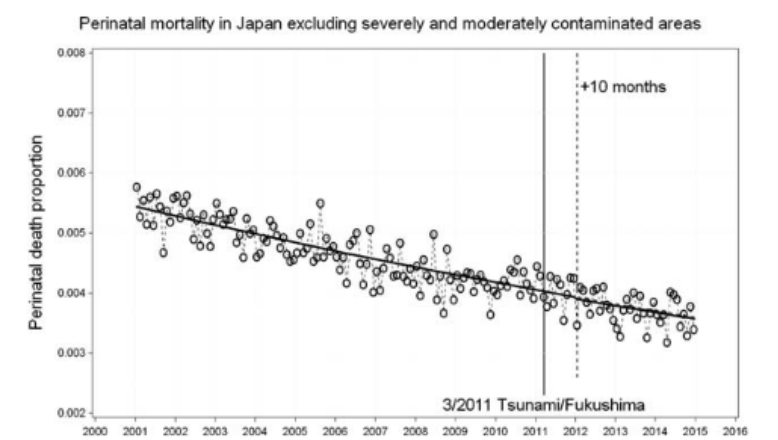


Figure 5. Monthly perinatal mortality in Japan excluding the 6 severely and 3 moderately affected prefectures (see Figs. 3 and 4); insignificant jump in January 2012, jump odds ratio 0.991 (0.958, 1.024).

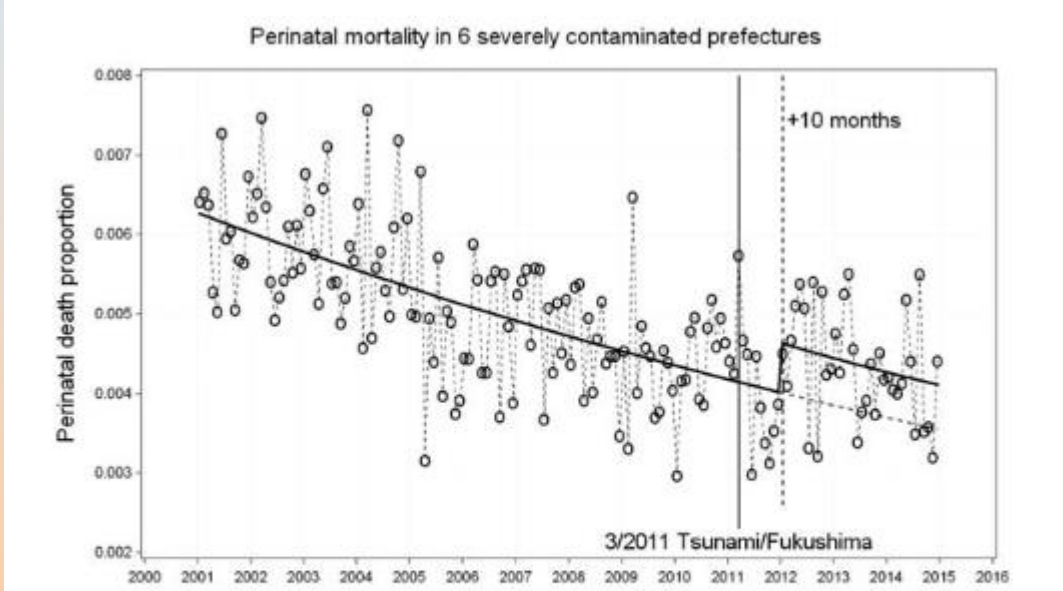
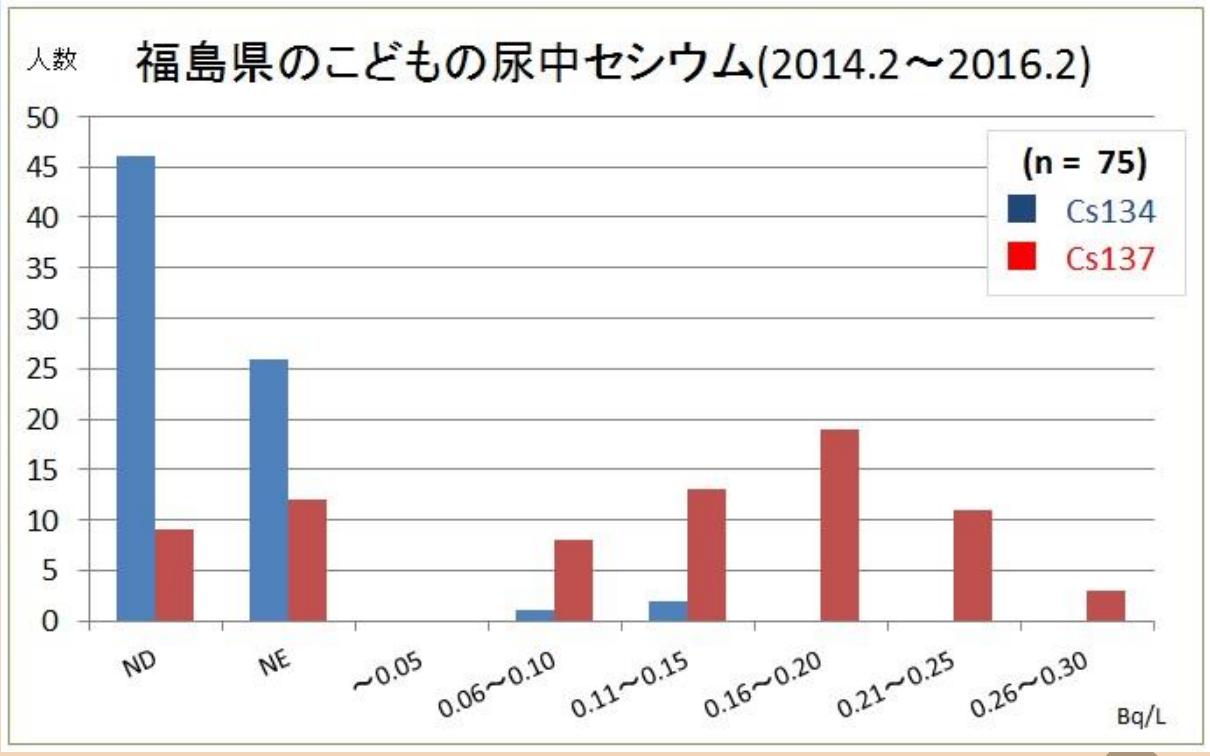


Figure 3. Monthly perinatal mortality in 6 severely contaminated prefectures Fukushima, Gunma, Ibaraki, Iwate, Miyagi, and Tochigi; jump in January 2012, jump odds ratio 1.156 (1.061, 1.259).

医問研ニュース№493より

子どもの異変-6



体内動態パラメータICRP67による体外排出の割合は、
尿 ： 便 ＝ 8 ： 2

福島県在住の子どもら37人、のべ75検体の尿測定を実施。
対象年齢は、蓄尿できる子どもから18才までの子どもとし、実際に測定に参加されたのは3才～15才の子ども達である。男女比は揃えることが難しく、男11人(のべ29検体)・女26人(のべ46検体)と女子が男子の2倍以上となった。
セシウム137だけを見てみると、のべ75検体のうち、21検体(28%)がND(不検出)・NE(スペクトル上で検出が見られるが値は出さず)であり、**尿中よりセシウム137が検出された検体数は54検体と7割を越えた。提供：こどもエイド**

子どもの異変-7

原発事故後の甲状腺がんの多発

- **この頃になると、子どもだけではなく大人にも甲状腺がんの多発が指摘され始め、2016年同時期には報道ステーションでも**

京都訴訟　原告の心情について

- 陳述書の分析とストレスアンケート調査を実施

（協力：国立民族博物館・総合研究大学院大学名誉教授　竹沢先生、西南学院大学　伊東先生、京都工芸繊維大学　大倉先生）

- 陳述書からわかること(56世帯171人うち56世帯回答)

・原発事故時、原告の8割が子育て世帯であり、夫婦同居の核家族世帯が7割以上を占めていた。

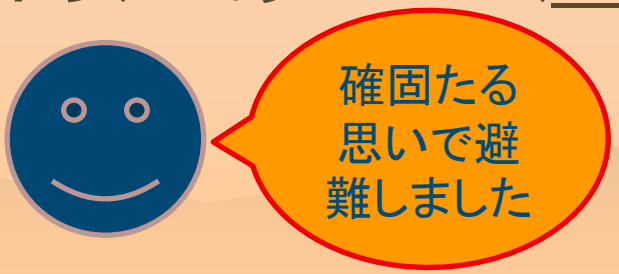
・原発事故は、アンケート調査時の世帯分離においてひとり親世帯が2世帯から18世帯に増加させた。

・女性の事故前の就労形態における無職の割合は約40%であるが、事故後は避難後の二重生活の補填のため職についている。

京都訴訟　原告の心情について-2

- 陳述書からわかること(続き)

・原発事故後、地元の食材や水道水を使う不安があり(92.5%)、家の中の換気扇を止めたり窓を開けないなどの自衛策へのストレス(77.4%)を感じまた、自治体の発表する線量より高く(74.3%;n=35)、鼻血が出るなどの体調の変化もあり(鼻血は41.2%;n=34)、避難元の放射線量は子どもには安全でないと感じ(77.1%;n=35)、金銭的な負担に対する葛藤や(92.7%)、住み慣れた家を離れる不安はあったが(80.0%)避難することを決意した。



子どもの異変―8

- 子どもの不登校
- 子どもの食生活
- 子どもの交友関係

↓

生活環境の変化で心が変わる
ケアが手薄
子どもたちが孤立している

2014年6月29日　民友記事再掲

- 子どもの体調の変化(58.5%)
- 子どもの不登校(17.3%)
- 子どもの交友関係(39.0%)

↓

子どもたちが孤立している
「とくに悪影響はない」としたのは
9.8%　　n=41

79.7%の子どもたちは
放射能の影響と考えられる
症状も発症している

父の病状

- 前立腺がん
- がんが全身に回り去年9月他界
- 2017年　0.133μSv/h

原発賠償訴訟・京都原告団

- 2013年9月17日　33世帯91人　提訴
  2014年3月7日　　20世帯53人　第2次提訴
  2015年7月7日　　11世帯31人　第3次提訴
  現在56世帯170人が原告！
- 意義
  1)「避難という選択をしたのは正しかった」ということを社会的に明らかにする
  2)国と東京電力の加害責任の追及
  3)原発事故の真相を明らかにする
  4)施策の恒久的対策へつなげる足がかり

避難者数は全国で4万人！

- 福島県民の県外の避難者数　28,171人

（令和3年4月30日現在　復興庁HPより）

京都への避難者数　338人（去年366人）

↓

現在減少傾向

・心身の疲弊

・生活費の増加（借金）

・避難した場所になじめない

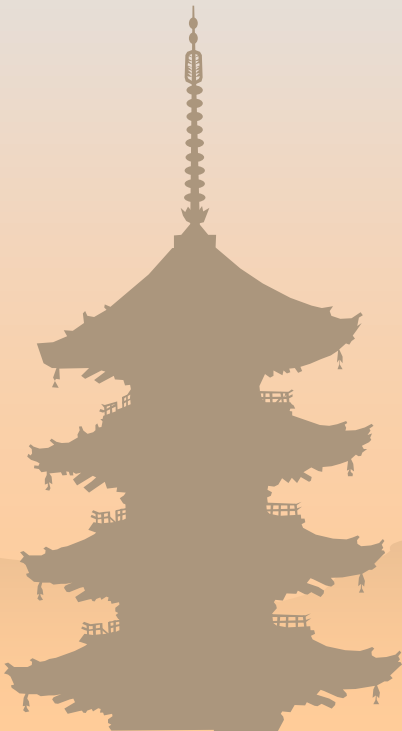
・仕事がない

・住居の問題：無償入居の打ち切り、追い出し

今後の展望

- 各訴訟は佳境！

  地裁判決で国に責任があると認めた訴訟 7/14訴訟 、控訴審では3勝1敗
- 避難用住宅の（無償）提供の延長を訴え続ける取り組みが継続！
- 各訴訟団や活動団体、専門家の先生方との全国的連帯し勝訴を
- 皆さんの叡智を生かしていくこと：運動の変化
- 子どもたちへ託す未来のためにも、一緒に声を上げていきましょう！

今後の予定

- 民意度は上がっている
- 2021年5月27日（木）
  大飯原発差し止め訴訟第29回期日　14時半開廷
- 2021年5月26日（水）
  福島原発ひろしま訴訟　第19回期日　15時開廷
- 2021年8月5日（木）
  原発賠償関西訴訟　第30回期日　14時開廷
- 2021年5月27日（木）
  原発賠償ひょうご訴訟　第37回期日　14時開廷
- 2021年6月
  伊方原発差止広島裁判　第23回期日